

砂の器

埼玉会館
創立 100 周年記念



映画上映会

『砂の器 デジタルリマスター版』©1974/2005 松竹株式会社・橋本プロダクション



出演 丹波哲郎、森田健作、加藤剛、加藤嘉 ほか
原作：松本清張 監督：野村芳太郎 脚本：橋本忍、山田洋次 撮影：川又昂
音楽：音楽監督・芥川也寸志 作曲・菅野光亮
1974 年製作 / 143 分 / 日本 配給：松竹

2026

5.9 (土)

10:30 / 15:00 2回上映

* 開場は開演の 30 分前です。開場時間よりチケットに記載されている整理番号順のご入場となります。

埼玉会館 小ホール

〔主催〕公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

〔協力〕NPO 法人埼玉映画ネットワーク



上映会詳細
(埼玉会館 HP)



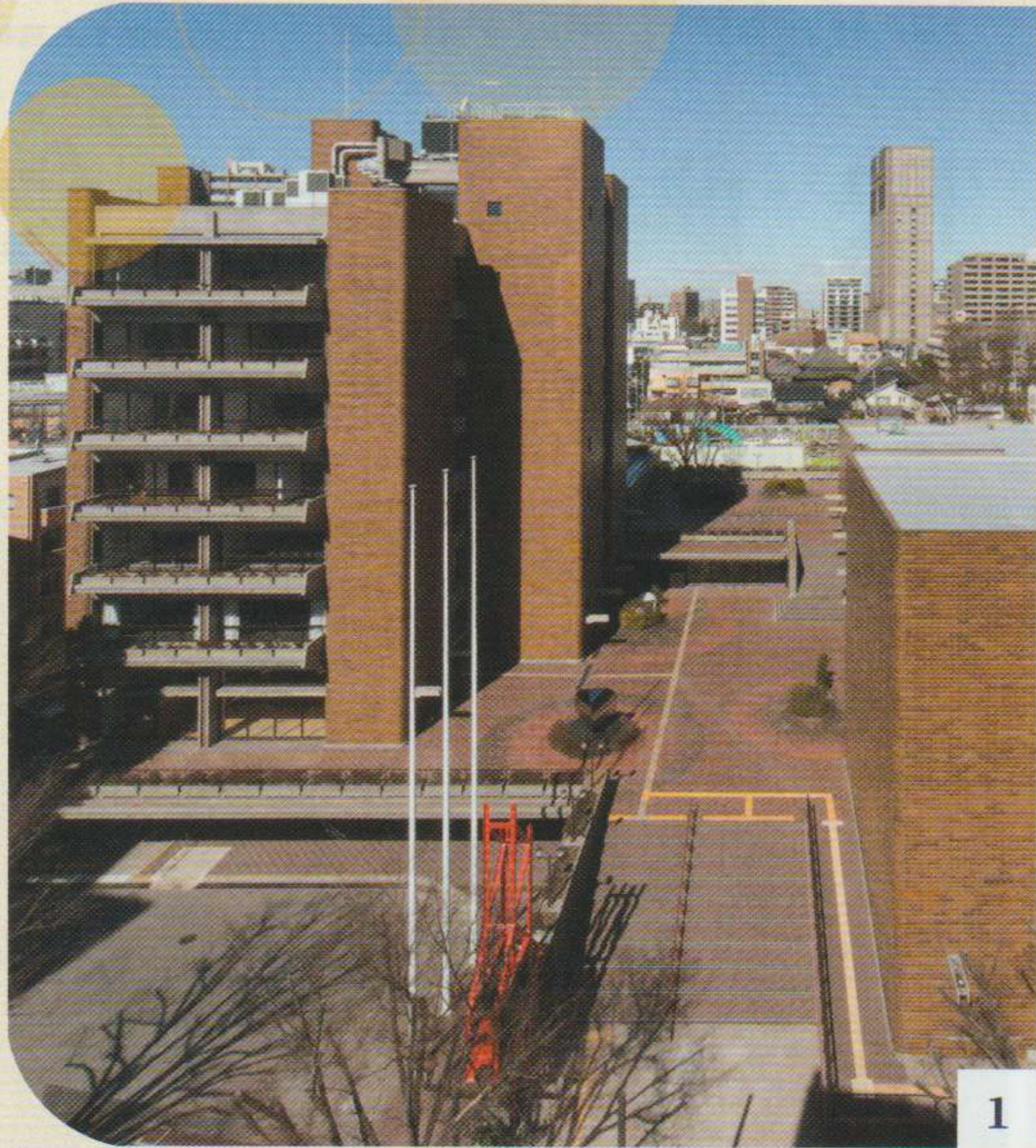
埼玉会館と映画『砂の器』

映画『砂の器』は、1974 年の公開以来、時代を越えて愛される日本映画史に残る作品です。じつは、埼玉会館の大ホールはピアノ協奏曲『宿命』が演奏されるコンサート会場のロケ地。このたび、埼玉会館の創立 100 周年を記念して、『砂の器』の上映会を開催いたします。当日は **スペシャルイベント** もご用意します。どうぞ特別な一日をお過ごしください。

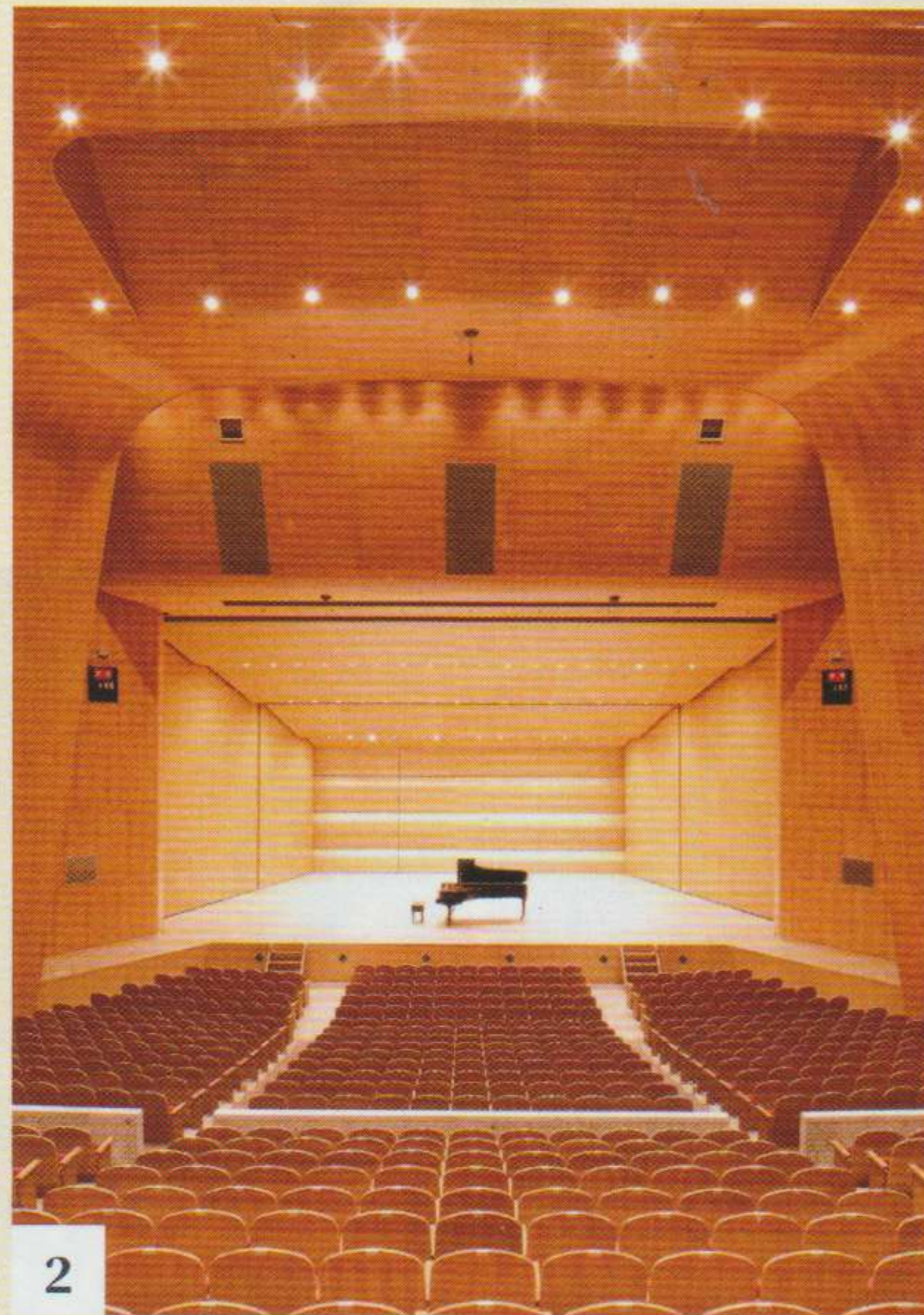
SPECIAL EVENT!

トークイベント & ホール見学 開催決定！
詳しくは裏面・上映会 HP をご覧ください

大正 15 年 (1926 年) に誕生し、今年 (2026 年) で 100 年 — 埼玉会館は皆様とともに歴史を刻んでまいりました。



1



2



3



4

埼玉会館は、大正 15 (1926) 年に「御成婚記念埼玉會館」として誕生。摂政裕仁親王 (昭和天皇) の御成婚を記念した名称です。大正 12 (1923) 年の関東大震災で建設延期を余儀なくされますが、渋沢栄一翁を中心とした市井 (しせい) の人々を含む多くの寄付により開館。昭和 41 (1966) 年に老朽化により建て替えられ、現在に至ります。映画『砂の器』のロケ地となったのは、この 2 代目埼玉会館。設計は、日本のモダニズム建築の旗手 前川國男氏が手がけました。人の流れをゆったりと包みこむように造られた空間は、皆様の憩いの場、散策の場となっています。

1. 現在の埼玉会館。東側に大ホール、西側に小ホールと会議棟があり、その間に色彩感のあるタイルを敷き詰めた「エスプラナード」を巡らせています。 2. 「木のホール」と呼ばれる大ホール。『砂の器』の演奏会シーンはここで撮影されました。 3. 大正 15 (1926) 年に誕生した初代埼玉会館。当時珍しい公共集会施設でした。 4. 昭和 41 (1966) 年の大ホールホワイエ。現在は改修で趣が変わりましたが、『砂の器』では撮影当時の姿が映像に残されています。

STORY

6月24日早朝、国鉄蒲田駅操作場構内に扼殺 (やくさつ) 死体が発見された。身元が分からず捜査は難航を極める。警視庁の今西刑事 (丹波哲郎) と吉村刑事 (森田健作) らの捜査により、被害者とともに蒲田駅近



くのバーで酒を飲んでいた若い男が重要参考人として浮かび上がり、二人の間で強い東北なまりで交わされた「カメダ」という言葉が注目される。東北に向かった今西と吉村は、その帰途で音楽家の和賀英良 (加藤剛) に出会うのだがー。

く

TICKET & ACCESS

全席自由 (整理番号付・税込)

前売 一般 1,000 円 / U-25 800 円

当日 一般 1,200 円 / U-25 1,000 円

* 障がい者 一般と同料金 (介助者 1 名まで無料) 電話または窓口のみ取扱い

前売 チケット・ お問合せ	【WEB】 SAF オンラインチケット https://www.saf.or.jp/t/
	【電話】 SAF チケットセンター 0570-064-939 10:00 ~ 18:00 / 劇場休館日を除く
	【窓口】 彩の国さいたま芸術劇場・埼玉会館 10:00 ~ 18:00 / 劇場・会館の各休館日を除く

※当日券は、5月9日 (土) 9:30 から、会場 (埼玉会館 小ホール) 受付で販売します。

チケット販売 一般 2026. 2 / 28 (土) SAF メンバーズ 2 / 21 (土)

SPECIAL EVENT !

『砂の器』研究書籍
決定版のご著者!

13:15
-14:00

樋口尚文氏トークイベント 「聖地で語る『砂の器』創造秘話」



映画評論家、映画監督。映画誌や新聞などを中心に評論を寄稿。著書に『砂の器 映画の魔性 — 監督野村芳太郎と松本清張映画』(筑摩書房)、『大島渚全映画秘蔵資料集成』(国書刊行会)、『黒澤明の映画術』(筑摩書房)、『秋吉久美子 調書』(筑摩書房)、『実相寺昭雄 才気の伽藍』(アルファベータ) ほか多数。映画監督作に『インターミッション』(13)、『葬式の名人』(19) など。日本大学芸術学部映画学科で教鞭をとり、神保町のシェア型書店「猫の本棚」のオーナーでもある。

上映会
前後

大ホール見学 ~ 『宿命』の舞台へ

映画の余韻を楽しみながら、ロケ地をご見学いただけます。職員によるミニ解説つき!
※上映会の会場は「小ホール」です。



埼玉会館 〒330-8518 さいたま市浦和区高砂 3-1-4
TEL: 048-829-2471
(休館日を除く 9:00 ~ 19:00)



浦和駅 (西口) より
徒歩約 6 分

駐車場 (有料) には限りがございますので、ご来場の際には、なるべく公共交通機関をご利用ください。